

ふりゆう  
風立



〔校訓〕

風に向かって立つ

## 「ありがとう」が響き渡る3学期にしよう！

校長 上村 勉

今月は私立高等学校の入試がありました。保護者の皆様の御協力のおかげで、願書及び受験料の期限も間に合い、事務作業終了に漕ぎ着くことができました。今年はお願が「WEB出願」になったため、入試事務作業を3年部職員が丁寧に進めました。また、面接や作文指導、各教科の放課後指導も行っていました。その後「ありがとうございます！」と満面の笑みで言われたら、携わった先生方も「やって良かった」「もっと良くしたい」という気持ちになることでしょう（言っているとは思いますが…）。

さて、この「ありがとう」という言葉には不思議な力があります。木下晴弘という人がいます。今は教職向けの会社を設立していますが、その前は塾の講師をしていました。大人気の講師だったらしいです。木下氏は、受験直前、受験生に必ず親にお礼を言わせに行かせていたそうです。以下の文章は、木下氏の著書『ココロでわかると必ず人は伸びる』からの引用です。

当日、入試の会場で私は子どもたちを一室に集め最後の訴えかけをする。（中略）「これだけ用意された舞台、君たちの力だけでできたことかな。誰かの力もあるやろ。ほかに力を借りたやろ？」。すると「お父さん、お母さん」という声上がる。中学受験では親がついてきて会場の中にいる。そこで私は言う。「そうやな。じゃあ今から入試会場に行くけど、その前に1分間だけお父さん、お母さんのところに行ってお礼を述べておいで。ありがとう、頑張ってくるからね。そうひとこと言えば、結果は問題じゃない。」

すると子どもたちはパーッと散って「今までありがとう」と伝える。（中略）するとどうだろう。合格するか落ちるかは半々といった線上の子どもがみな見事に合格するのだ。その理由は私には分からない。ひとつ言えるとすれば、やはり感動の力がどこかで大きく働いているということではないかと思っている。（後略）

この文を読んで、「感謝の言葉『ありがとう』の力って本当にすごいんだなあ」と思うことでした。また、2008年の北京オリンピックで、ソフトボール日本代表が金メダルを取りました。そのときの話です。日本代表は、技術・体力面だけでなく、メンタル面も専門の人をつけて鍛えたそうです。そのときのトレーナー西田文郎氏は、オリンピックで100%の力が出せるように、オリンピック前に選手全員にあるところに行かせたそうです。

【大舞台で100%の力を発揮するために選手全員に〇〇〇に行かせた】さて、〇〇〇にあてはまる言葉は何でしょうか。正解は「お世話になった方々にお礼」に行かせたです。これは、脳科学を応用した方法らしいです。感謝の心をもつと、

いざという場面で自分を信じられるようになり、潜在能力を引き出せるそうです。人は、緊張すると視野が狭くなり、自分のことしか考えられなくなりますが、普段から周りに目を向け、周囲の恩を感じられると、いざというときにパッと周りを見ることができ、自分を客観視できるのも要因の一つではないかと思えます。ぜひ、我々も卒業まで感謝の心をもち続け、「ありがとう」の言葉が響き渡る中種子中学校にしていきたいものです。私立高等学校入試が終わると次は公立高等学校学力検査が始まります。感謝の言葉を口にして100%の力を出し切ってください！



## 第2回コアスクールプロジェクトエリア推進校研究授業研修

1月23日(月)にコアスクールプロジェクト第2回校内研修会があり、佐藤教諭による、1年社会科の研究授業が行われました。授業では、北アメリカの工業について、生徒たちがタブレットのロイロノートを活用して、資料やグラフ等からわかったことや複数の資料の共通する部分をまとめる活動を通して、自分の考えを発表し、グループで意見を交流する活動を行いました。

この日は、町内の小学校の先生や島内の中学校、高等学校の先生方も来校され、その後の研究協議において、生徒の学びの様子について熱心に話し合われました。このコアスクールプロジェクトは、授業改善及び授業力向上を目指した研修で、昨年10月にも実施しました。この「ワークショップ型研修」を通して、中種子中学校は学び続ける教師集団の組織力向上を目指しています。



【授業の導入】



【他者との意見交換】



【協議内容の確認】



【ワークショップ型研修】

## いじめ問題を考える週間

「いじめ問題を考える週間」の取組として、3回目となる今回は、法務省人権擁護局による人権啓発ビデオ「わたしたちの声 3人の物語」を視聴しました。いろいろな個性をもっている人たちがいる中で、いじめ問題に発展しないために、私たちはどう考え、行動すべきかについて話し合いました。

以下は、生徒の感想です。

- 「消えろ」や「死ね」等は絶対に使ってはならない。これらの言葉を冗談でも簡単に使うべきではない。
- いじめている人は、からかいだと思っていなくても、いじめられている人はつらい思いをする。先生に相談する、直接注意する、見て見ぬふりをしないことが大事だと思った。1人1人が気を付けて行動することが大切だ。
- まずは「いじめ」が起こらない学校作りが大切で、「いじめ」の原因を知ることが大切だと思いました。お互いの違いをよく理解して、認め合うことで「いじめ」がなくなると私は思います。
- 当たり前だった幸せは、いじめによって、ある日突然なくなってしまいます。人間は弱く、命はもろいです。簡単に「消えろ」などと言ってはいけないのです。いじめはなくすべきです。いじめは「人権侵害」です。

## 町教職員親善スポーツ大会

1月14日(土)の午後から種子島中央体育館において「町教職員親善スポーツ大会」が行われ、本校から2チームが出場しました。

職員は、種目であるユニバーサルカーリング(ユニカーリング)に苦戦しながらも奮闘、Bチームが2位でした。他校の先生方とも交流を深めることができ、有意義な時間を過ごすことができました。

## 寄贈ありがとうございます

昨年12月に「町老人クラブ様」から雑巾をいただきました。早速、終業式の大掃除や始業式の大掃除で使わせていただきました。おかげさまで学校が綺麗になりました。いつもお気遣いいただきありがとうございます。今後とも「中種子中学校」をよろしく願っています。

## 2月の主な行事

- 1日(水) 学校集金(～3日)
- 2日(木) 新入生説明会・情報モラル講演会(午後)
- 7日(火) 家庭学習強調週間(～2月15日)  
部活動停止(～2月15日)
- 10日(金) 立志式、立志式記念講演会(2年生)
- 14日(火) 学年末テスト(～16日)  
SC来校(12:30～15:30)
- 16日(木) 避難訓練④
- 17日(金) 町小・中・高学力向上対策委員会(本校)  
PTA運営委員会、PTA理事会
- 21日(火) 第3回学校関係者評価委員会  
学校保健委員会、学年・学級PTA  
※家庭教育学級閉鎖式(PTA終了後)
- 28日(火) SC来校(10:00～13:00)  
※下線は年度当初の予定から変更しております。  
詳細は配布済みプリントにてご確認ください。